

三重県立菟野高等学校(平成29～30年度)

高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究

〈調査研究趣旨〉

当該校の生徒が3年間で身に付ける「菟高生にとっての基礎学力」についての定義を明確にしたうえで、その定着・向上を図る教育課程の編成や、指導方法等の研究、および授業改善等を行うとともに、これらのPDCAサイクルを行う仕組みを構築する。

調査研究(1) 「菟高生にとっての基礎学力」についての定義の明確化

- ① 「菟高生にとっての基礎学力」についての定義を作成する。
- ② ①を踏まえ、国語、数学、英語の教科内容に沿った「菟高生にとっての基礎学力」についての定義を作成し、その向上・定着に向けた取組を推進する。

調査研究(2) 「菟高生にとっての基礎学力」の定着・向上を図るための教育課程の編成や、指導方法等の研究

- ① 教育課程(学び直しのための学校設定科目等)の改善を図る。
- ② 主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザイン化の視点を取り入れた授業や、ICTを効果的に活用した授業を研究する。
- ③ 家庭と連携する仕組みを構築する。

調査研究(3) 「菟高生にとっての基礎学力」の定着・向上に係る取組成果を測るPDCAサイクルを行う仕組みの構築

- ① 当該校独自の授業連携型基礎学力テスト(仮称)を作成する。
- ② 生徒変容アンケートといった生徒の変容を測る評価手法を研究する。
- ③ 学力向上委員会および新たな仕組みの構築・活用について研究する。
- ④ 効果的な校内研修の在り方を研究する。

「高校生学力定着支援事業」(25～27年度本県事業)の成果とノウハウ

学力向上委員会

「主体的・協働的な学び」研究推進事業(28年度本県事業)の成果とノウハウ

関係機関

県教委作成「みえ高校基礎学力スタンダード」

授業連携型基礎学力テスト(仮称)

文部科学省作成「試行テスト」(仮称)

生徒変容アンケート

成果普及

- ・ 当該校主催での研究協議会の開催(公開授業・情報交換)
- ・ 県主催の成果報告等での発表やホームページ上での公開
- ・ 成果報告書の作成等

目的

これからの社会の変化に柔軟に対応し、生涯にわたって学び続けるうえで必要となる「菟高生にとっての基礎学力」の育成